

周南市地域公共交通計画の策定に向けた調査計画等

(1) 概況整理

ア 地域概況の更新

前期計画で整理した事項を中心に、各種統計データ等を用いて、以下の項目を整理し、データを更新する。人口分布や施設配置等に関する情報はGISを用いて整理する。

- ① 地勢、土地利用、人口、産業等の基礎データ
- ② 公共施設、商業施設、医療機関等の移動目的地の分布
- ③ 日常生活圏の形成状況
- ④ 公共交通の基礎データ
- ⑤ 移動手段確保に係る施策の動向

イ 目指すまちづくりの方向性の更新

前期計画の位置づけを踏襲しつつ、第2次周南市まちづくり総合計画(後期基本計画)等をはじめとし、各分野の関連計画が目指すまちづくりの方向性を整理する。立地適正化計画との整合性や昨今の都市開発の動向も整理する。前期計画の目標達成状況等も評価し、後期計画策定に向けた課題等の検討材料とする。

ウ 行政・関係機関・事業者等ヒアリング

行政に加え、関係機関や事業者等へもヒアリングを行い、施策動向や連携可能性等を把握する。

行政・関係機関・事業者等ヒアリング		
調査のねらい	(行政・関係機関)政策動向や連携可能性、前期計画の評価、公共交通に求められる役割等の把握 (事業者等)移動に関する課題やニーズ、前期計画の評価、新型コロナウイルスの影響等の把握	
ヒアリング先(予定)	行政・関係機関	<ul style="list-style-type: none"> • 都市政策課・中心市街地活性化推進課 • 教育委員会(教育政策課) • 観光交流課・観光協会 • 地域福祉課・高齢者支援課 • 商工振興課・商工会 • 地域づくり推進課 • 防災危機管理課
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> • JR 西日本 • 防長交通 • 徳山地区タクシー協会 • 大津島巡航 • コミュニティ交通運行事業者

(2) 現状分析・課題の整理

ア 公共交通の現状整理

■公共交通に係るデータ等の整理

公共交通やスクールバス、福祉輸送、施設等の送迎サービスなどの現状を GIS で整理する。路線バスに関しては、OD データの提供により表やグラフで整理したカルテを作成する。デマンド交通については、予約システムに蓄積された利用登録や利用実績に関するデータを整理し、住民の利用登録状況や利用実態等を把握する。

■新技術等の動向調査・整理

新技術については、公共交通分野におけるイノベーションやそれらの社会実装の動向、道路や都市、公共交通分野における法改正の動き等について、取組ごとにその概要や法的位置づけ、メリット・デメリット等を整理したカルテを作成する。

例えば、自動運転のように複数パターンの実証事例があるものについては、周南市内での適用を念頭におき、事例ごとに整理する。

イ 市民の移動実態や改善ニーズ等の把握

①住民アンケート調査

本土部に居住する市民 4,000 世帯及び大津島に居住する市民 165 世帯に対してアンケート調査を実施する。

住民アンケート	
調査のねらい	新型コロナウイルスの感染拡大や施設立地の変化による移動ニーズの変化の把握
質問項目 (案)	① コロナ前後での移動・外出の変化（交通手段や目的地） ② 公共交通の利用に関するコロナの影響 ③ 最近の施設立地で移動や外出に変化があったか ④ 前期計画の事業内容の評価（事業の認知度等）
実施方法 (案)	市内 4,000 世帯へ郵送配布（各地域に偏りなく配布）/大津島の全世帯（165 世帯）へ郵送配布（※回答率 30%と仮定し、約 1,200 サンプル） 郵送にて回収

②高校生 web アンケート調査

市内の高校 2 年生を対象に web 形式で公共交通等に関する意識調査を実施する。

高校生 web アンケート	
調査のねらい	中長期的に公共交通を利用してもらうための取組の方向性を検討するための基礎材料を得る
質問項目 (案)	① 主な通学手段 ② 新型コロナウイルスの感染拡大による公共交通への印象の変化 ③ 公共交通(バス、タクシー)に対する印象 ④ 自動運転等の新技術に関する印象 ⑤ 将来の公共交通を使う可能性

	⑥ 居住地に関する意識
実施方法 (案)	市内の高校・高専に通う高校 2 年生、周南市在住で市外の高校に通う高校 2 年生を対象。 web アンケートのアドレスを掲載した QR コードを配布し、回答。 ※紙媒体より高校の協力が期待でき、親和性が高い

③中山間地域の移動手段確保に関する意見交換会

住民アンケートだけでは細かな意向が把握しにくい中山間地域において、各地域での移動実態や地域で必要な移動方法を明らかにするための意見交換会を行う。

中山間地域の移動手段確保に関する意見交換会	
調査のねらい	地域にとって望ましい移動手段確保に向けた取組を進めるうえでのきっかけづくりの場とする
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 対象：コミュニティ単位レベル 開催数：2～3カ所程度（コミュニティからの手上げ方式にて選定） 参加者数：10人程度（自治会長や支所職員、社協等） ※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、web形式での開催も検討
想定する意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の移動の実態(買い物、通院といった目的別の移動目的地、頻度、現在の利用交通手段) 地域で必要とされる移動手段の形態や運行方法（実証実験計画のたたき台立案のイメージ） その他、公共交通に関する意見・要望等
意見交換実施後に期待する効果	意見交換会を通じて、議論の土壌をつくり、令和3年度以降の実証実験へ向けて関心を高める。実証実験を実施して、新たに生じた課題を短期的に解決し、より良い移動手段を目指していくポジティブスパイラルの形成を目指す。

ウ 公共交通網の問題点・課題の整理

周南市のまちづくりの方向性を踏まえた上で、公共交通の各路線・サービスの役割を検討する。役割を踏まえたうえで、周南市の公共交通の課題を整理する。

(3) 計画の策定

ア 目標や評価指標の提案

今秋に地域公共交通活性化再生法改正法が施行予定であることから、改正法の趣旨等を踏まえ、新計画に対応する。

周南市の公共交通の課題及び上位・関連計画に掲げられているまちづくりの方向性等を踏まえ、計画の基本方針と達成目標、評価指標等を設定し、目標、評価指標、事業内容の関係のみならず、問題点や課題等との関係も常に意識しつつ、お互いをフィードバックしながら整理する。評価指標の設定や事業評価にあたっては、OODA ループを活用し、各取組を現場目線で柔軟かつ臨機応変に改善・実行していくことを目指す。

イ 計画に位置付ける事業の提案

課題や基本理念、目標等との整合を常に確認しながら、計画に位置づける事業を検討する。事業の検討にあたっては、自動運転やグリーンスローモビリティ、MaaS 等の新技術の実装の動向を踏まえるものとする。なお、令和 3 年度以降に実証実験を行う場合、国の実証実験等への応募を提案・支援する。

(4) 市民参画の実施支援

計画書(素案)の作成にあたり、専門用語には解説を付記することで、一般市民の方にも分かりやすい計画づくりを心掛ける。

■現時点での実施スケジュール

項 目	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 概況整理										
ア. 地域概況の更新		■	■							
イ. 目指すまちづくりの方向性の更新		■	■	■						
計画等の整理		■	■	■						
行政・関係機関・事業者等ヒアリング				■	■					
2. 現状分析・課題の整理										
ア. 公共交通の現状整理		■	■	■						
データ整理		■	■	■						
新技術の動向整理		■	■	■						
イ. 市民の移動実態や改善ニーズ等の把握		■	■	■	■					
住民アンケート		■	■	■	■					
高校生webアンケート				■	■	■				
中山間地域の移動手段確保に関する意見交換会				■	■	■				
ウ. 公共交通網の問題点・課題の整理					■	■	■			
3. 計画の策定										
ア. 目標や評価指標の提案					■	■	■	■		
イ. 計画に位置付ける事業の提案						■	■	■	■	
4. 市民参画の実施支援									■	■